

平成 30 年度 学会賞等選考委員会活動報告

委員長：西川亮、副委員長：康勝好

委員：犬飼岳史、今井千速、大平美紀、佐野秀樹、滝智彦、滝田順子、
田中祐吉、照井君典、矢部普正、渡邊健一郎

A. 平成 30 年度第 19 回小児医学川野賞へ推薦を行った（落選）。

B. 平成 30 年度大谷賞推薦論文を決定した。

服部浩佳、他。思春期・若年成人がん患者の妊孕性温存の取り組み。日本小児血液・がん学会雑誌 54-3、229, 2018

C. 平成 30 年度学会賞

以下の 3 論文を受賞論文とした。

1. 臨床領域の血液疾患分野：加藤元博他。Long-term outcome of 6-month maintenance chemotherapy for acute lymphoblastic leukemia in children. *Leukemia* 31:580, 2017

2. 基礎領域の血液疾患分野：片山紗乙莉他。GATA2 haploinsufficiency accelerates EVI1-driven leukemogenesis. *Blood* 130:908, 2017

3. 臨床領域の固形腫瘍分野：受賞なし

4. 基礎領域の固形腫瘍分野：高木正稔他。Loss of DNA damage response in neuroblastoma and utility of a PARP inhibitor. *JNCI* 109:djx062, 2017

- 受賞には至らなかったが、1st author の所属が国内施設と国外施設の併記になっていて correspondence もその国内施設の研究者と国外施設の研究者併記になっている論文が応募された。今回はこの研究の主要部分は国内で行われたという情報をもとに審査対象としたが、応募論文としての資格の正当性、あるいは規約との整合性が議論された。将来的には学術賞規約第 3 条 2 項を「主要研究が日本国内で行われた…研究」と改訂することが提案された。

以上